

第23年度 事業計画

事業の目標

「子どもたちとともに活動を作り続けることができる環境づくりの一年に。」

コロナの影響があっても活動を作り続けることができる運営を。

昨年度はコロナの影響から様々な事業提案を小規模で実施できるように、提案者と事務局が中心とした活動運営をしてきました。これまでのように多くのボランティアが多くの子どもたちと関わるのが難しい場面も多く、準備も難しかったための体制でしたが、今年度も引き続き同様の運営を行なっていきます。小規模になったとはいえ、活動当日は多くのボランティアに支えられ、また会員同士の交流もできているため、広く、多くの参加者を募るというスタイルより、これまでのつながりを深め、これからの活動づくりのための基盤づくりの一年としていきます。あわせて昨年度はコロナによって活動場所の制限や事業収入の面では落ち込みもあったことから、あらためて事務所を移し、個別活動がしやすく、日常の支出の節約、また他拠点との連携がスムーズにとれる体制づくりに取り組みます。さらに、コロナで休止した活動であっても、参加者からはぜひ開催してほしいという声もあることから、企画した活動についてはできる限りのコロナ対応をした上で、実施し、こんなときだからこそ子どもたちと活動をともにできる機会を作り続けることを目指していきます。

これまでの活動の見直しと新しい提案からの活動づくり

コロナによって従来と同じ形での事業運営ができない活動が多く、1年間休止となったものもありました。事業の性質上、従来と同じ形での再開は難しいということもあるなかで、この1年間でどのように活動を届け直すのかを見直し、リニューアルしていきます。今年度の事業としては、従来のかたちで実施できるものはそのまま継続し、その他は昨年度の半年間かけて小規模活動を集中開催したフェスタのスタイルを1年間とゆとりをもたせた上で、小規模活動を実施していく予定です。昨年度のフェスタで多くの取り組みを行いました。そのひとつひとつは従来の事業で実施していたものも多く、このなかでこれまでの活動のノウハウを活かしていきます。また、この形での実施では、新しい提案を形にすることもできるため、新規の活動アイデアを多く募り、活動をつくっていきます。

活動を応援してくれる仲間を増やす

昨年度、コロナの状況になった段階で、多くの会員やボランティアの方々が活動だけではない支援を届けてくれました。また支援を通じてはじめて山科醍醐こどものひろばを知ってくれた方も多くおられました。さらに下半期ではボランティアしたいという声も増えてきた状況があります。あらためて多くの方に支えられ、また活動に参加したいという方が多いことに気付かされました。そのようななかで、ボランティアをしたい方が安心して参加できる体制やサポートできる環境の整備もさらに必要となります。またあらたに物品寄付や寄付で応援いただいた方のおかげで継続できた事業もあったため、引き続きコロナの影響がある現状としては、このような応援してくれる方々をさらに増やしていくことで子どもとの活動が維持・拡充できると考えています。

以上から以下の3点を中心に取り組んでいく。

1. これからの時代に応じた事業運営の見直し（オンライン・基盤強化：事務局体制・事業間連携の見直し・活動拠点の整備）
2. 事業の見直しから小規模でも子どもとの活動を続けることのできる運営と事業を通じての交流および新規アイデアからの活動づくり
3. 今後を見据えた活動の支援の輪を広げる（ボランティアや活動スタッフ、支援会員や寄付者の拡充）

第23年度 各事業計画

	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 (スタッフの 人数)	対象者の範囲 定員 参加人数	予算額 (千円)
舞台芸術 鑑賞活動	-	-	-	-	-	-
子どもが自 ら創る体験 活動事業	<u>こどもフェスタ</u> 小規模のイベントを通年を通して 実施する。	通年	地域一円	15	地域の 子どもと大人 300人	75
	<u>町たんけん</u> 地域を知り、その中の出会いから 人と人がつながり、より良い地域 になることを目指す。山科かるた や、ガイドブックを普及させ、有効 活用できるように、小学校を巻き 込んだ活動に努める。	通年(小学生との 町たんけん活動は 夏～春)	地域一円	12人 (スタッフ・ ボランティア・ 講師)	小学生15名 小学校訪問参加児 童数約100人	262
子育てサ ポート事業	<u>げんきスポット0-3(げろさん)</u> 未就園児を持つ親と、その子ども 達のサポートを常設会場「げんき スポット」にて実施する。屋根のある 公園を目指す。 充実事業の委託として げんきス ポット0-3を飛び出して地域の場 での支援を行う。 ※京都市の委託事業	毎週火～土曜日	げんきスポット	25 (ボランティア1 0 講師 6)	地域の 子どもと大人 のべ6500人	6790 (委託金 6519)
	<u>楽習サポートのびのび</u> 集団活動が苦手な子どもや、学習 機会の少ない子ども、また経済的 等の理由で体験活動の機会がな い子どもへの個別(生活・学習・余 暇)支援事業。	通年	地域一円	40人	地域の子ども: のべ200人	-
	<u>子どもの貧困対策事業</u> 集団活動が苦手な子どもや、学 習機会の少ない子ども、また経済 的等の理由で体験活動の機会が ない子どもへの個別(生活・学習・ 余暇)支援事業。コロナ禍の影響 を受けた家庭に食材・衛生用品の 配布支援も実施する。 ※京都地域創造基金事業指定助 成事業 ※近畿ろうきん「笑顔プラス」寄付 ※一般社団法人生活クラブ福祉 事業基金新型コロナウイルス感染拡大に よる緊急助成	通年	地域一円	40人	地域の子ども: のべ200人	4000 (助成金4000)
	<u>山科醍醐地域ひとり親家庭等へ の生活・学習・居場所サポート事 業</u> 伏見区醍醐・小栗栖地域を中心 に、小学校高学年の子どもとその 家族へのサポートを行う。 ※京都府委託事業	通年	地域一円	40人	子ども: のべ200人 保護者: のべ15人	8450 (委託金8450)
ボランティ アサポー ト事業	<u>ボランティア・研修部</u> ボランティア希望者の、各事業へ のコーディネートを行なう。 ボランティア活動に参加する際 の、子どもとのかかわり方や、参 加者が希望する内容の研修会を 定期的に実施する。	通年	当法人事務所	4	-	-
	<u>講師派遣・インターンシップ受入 事業</u> 当法人スタッフの講師派遣及び当 法人におけるインターン希望者の 受入を行う。	通年	地域一円	4	-	1,500

	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 (スタッフの 人数)	対象者の範囲 定員 参加人数	予算額 (千円)
ボランティア サポート 事業	のびのび@たいむ のびのび事業の利用を終えた高 校生等の居場所とボランティア推 進事業。	通年	地域一円	5	のべ60人	—
広報・出版 事業	ひろばつうしん 会員向け情報誌「ひろばつうしん」 の発行。 イベントや活動の参加募集チラ シ、外部団体のチラシなども発 送。	月刊	—	—	150部を12回	—
	コッペパン 広報誌「コッペパン」の発行。	季刊	—	2	1,000部を4回	—
	ひろばの本 「貧困とひとりぼっちのないまち」 の頒布を通じて、ひろばの広報や 社会への啓発を進める	通年	—	—	—	100
	サポートBOOK 「子どもの貧困課題に地域で取り 組む支援者のアクションサポート BOOK」の頒布、活用。 読書会の開催。	通年	—	—	—	—
ネットワー クづくり事業	ホームページ 当法人におけるホームページの 定期的な更新情報の発信及び、 基本情報の公開を行う。	通年	—	—	—	—
	分野連携ボランティアネットワー ク事業 当法人登録ボランティアと子ども 分野の活動団体とのネットワー クづくりを行う。	通年	—	—	—	—
	山科子育て応援団 社会福祉協議会を事務所として 山科で子育てサークルや子育て 支援をしている諸団体との交流を 行う。子育て支援サロンを開催す る。	4月～3月 8月休み 年間11回	社会福祉協議会 他	13 (ひろば内3)	のべ300	—
	遊びのアウトリーチ事業 小学校の放課後に、大学生や地 域の方と遊びを通して、関わる機 会をつくる。	通年	地域小学校	1	のべ50	25
	中3勉強会(おぐりす・だいが・醍 醐支所) 生活保護受給者等中学生学習支 援プログラム。 ※京都市ユースサービス協会委 託事業	通年	醍醐事務所 トハウス 醍醐支所	15人	6人 5人 20人	2713 (委託金2713)
	みんなの家 フリースペースとして開放。 (主催:社会福祉協議会)	第1、第3、第5 月曜日	こども生活支援セ ンター	2	—	—
	企業との連携 企業からのボランティア体験の受 け入れや、イベントでのボランテ ィア呼びかけなど。	通年	—	2	—	—
	ランランおでかけひろば 会員同士の交流、支援会員その 家族も含む。	通年	将軍塚	2	50	2
	子どもの居場所づくりに関するアド バイザー事業 子どもの居場所づくりをしている個 人・団体への相談・研修に講師派 遣を行なう。	通年	京都市内	—	—	—